

研修報告書 No.3

所 属： 昭和大学藤が丘病院

研修先： 特定医療法人長生会 大井田病院

2020年12月1日から25日までの4週間、高知県宿毛市の大井田病院で研修をさせていただきました。

大井田病院は、人口2万人・高齢化率40%近くの宿毛市でプライマリ・ケアの第一線を担う施設です。車で30分程度の距離に地域の中核病院があり、専門性の高い治療を要する患者を中核病院へ紹介したり、慢性期の患者の転院を受け入れたり、密に連携しての医療が行われていました。高知県幡多地域の多くの医療機関が電子カルテのネットワークに参加しており、診療情報のやり取りがスムーズに行われていることはとても印象的でした。

研修中はほぼ毎日訪問診療に帯同させていただき、通院が困難な高齢者や寝たきりの方のお宅などに伺って診察・治療を行いました。血液検査等の検体採取や通常の静脈・皮下・筋肉注射だけでなく、ポータブルエコーを使つての診察や関節注射など、病院の外でこんなことまでできるのか、と驚くことも多くありました。他にもドクターカーの緊急出動やドクターヘリによる高知市内への緊急搬送、隣接する大月町での乳児検診や老人ホームでの診察など、大学病院での研修ではあまり機会のない病院外での活動をたくさん経験させていただいたことは大変刺激的で勉強になりました。

また、外来でも丁寧なご指導のもと、様々な診察や手技を経験させていただきました。外傷や急性疾患に対する救急対応から、慢性期の管理、終末期の患者さんのケア、リハビリ通院の患者さんの診察まで、プライマリ・ケア医に求められる知識や技術の多様さを実感しました。その中でも、慢性疼痛を訴える患者さんに対してのエコーガイド下ハイドロリリース注射は、施術件数が非常に多く、即効性があり患者さんに喜んでいただける手技でやり甲斐を感じました。私は来年度に大学病院の麻酔科へ入局予定であり、将来はペインクリニックにも携わりたいと考えているため、手技の技術面でも患者さんへの対応・診察の面でも非常に有意義な経験でした。

研修の一環として、新人看護師さんが毎週しているオンライン勉強会でレクチャーをする機会もいただきました。人前でレクチャーをするのは初めてのことでしたが、医療用麻薬についてという表題を選び、勉強しながら準備をし、迎えた当日には拙い私のお話へ真剣に耳を傾けていただき、質問やリアクションも多くいただくことができて大変嬉しく貴重な時間となりました。

大井田病院には、離島・へき地医療に携わる総合診療医の育成プログラムに参加している先生方もいらっしゃいました。元々の専攻科である内科・外科に留まらず、診療では多様な症例に対応したり、中核病院で眼科や整形外科等の専門性の高い診療科の研修を受けたり

と幅広く活躍される先生方のお姿から、「専攻科を一つ決めて医局に入局し、専門性を高め
ていく」だけではない医師の働き方の実際を知ることができました。他病院の先生方と合同
のオンラインミーティングを開催される総合診療の勉強会にも何度か参加させていただき、
興味深いお話を多く伺いました。自らが出来る範囲のことにとどまることなく、ストイック
に努力を続けることの大切さを改めて実感出来たことは、今回の地域医療研修で得た大き
な学びのひとつです。

大学卒業までを東京で過ごし、神奈川県で初期臨床研修中の私にとって、四国の西端・高
知市から列車で3時間の宿毛市での生活は何もかもが新鮮で、あっという間の4週間でし
た。往診車から見える川沿いや海辺の美しい景色や、漁業が盛んな地域ならではの美味しい
食事は毎日の楽しみでした。

この研修を通して教えていただいたことを糧として、この国の医療を支えるお手伝いが
少しでもできるよう研鑽し続けていきたいと思えます。

COVID-19 第3波が猛威を振るう中、首都圏からの研修医を受け入れていただくのは大変
なことであったかと思えます。にも関わらず、あたたかく迎えてくださり、充実した研修が
できるようにと心を砕いてくださった大井田病院の皆様、そして出発前から丁寧にサポー
トをしてくださった高知医療再生機構の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。この場を
お借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。